

別表第4  
施工管理記録様式

# 施工管理記録様式

様式－ 1	施工管理図表 表紙
様式－ 2	施工計画表
様式－ 3	出来形管理図
様式－ 4	出来形管理図（整地工用）
様式－ 5	出来形管理図（暗渠排水用）
様式－ 6	出来形管理図（構造物用）
様式－ 7	品質管理図（生コンクリート）
様式－ 8	測定結果一覧表
様式－ 9	スランプ試験一覧表
様式－ 1 0 -1	$\bar{X}-R$ 管理データシート
様式－ 1 0 -2	$\bar{X}-R$ 管理データシート
様式－ 1 1	$\bar{X}-R$ 管理図
様式－ 1 2	材料検収簿
様式－ 1 3 -1	二次製品品質管理図（一般製品）
様式－ 1 3 -2	二次製品品質管理図（管製品）
様式－ 1 4	鋼管溶接測定結果一覧表
様式－ 1 5	鋼管溶接塗覆装点検表
様式－ 1 6	管水路ジョイント間隔測定結果一覧表
様式－ 1 7	埋設とう性管たわみ量管理表
様式－ 1 9	杭打ち成績表
様式－ 2 0	塩化物含有量試験
様式－ 2 1	路面の平坦性試験表
様式－ 2 2	ブルーフローリング試験
様式－ 2 3	コンクリート養生温度管理表
様式－ 2 4 -1	$X-R_s-R_m$ 管理データシート
様式－ 2 4 -2	$X-R_s-R_m$ 管理データシートの2
様式－ 2 5	$X-R_s-R_m$ 管理図



施 工 計 画 表													監督員	現場責任者	施工管理責任者			
工 種	区 分	数 量	地区名			工事名			受注者			月			月			%
			5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	
			5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	100
																		90
																		80
																		70
																		60
																		50
																		40
																		30
																		20
																		10
																		0
																		出来高率
全 体		(%)																
計 画 出 来 高		(%)																
実 績		(%)																
差		(%)																

※現場責任者は主任技術者又は現場代理人とする。

出来形管理図

		監督員		現場代理人又は主任技術者		施工管理責任者				
1 工事名		2 工種		3 項目		4 箇所		5 測定者		
データの記録表	測 点									
	距 離									
		設 計 値								
		実 測 値								
		設計値との差								
		設 計 値								
		実 測 値								
		設計値との差								
		設 計 値								
		実 測 値								
		設計値との差								
		設 計 値								
		実 測 値								
		設計値との差								
	出来形管理									
		測定年月日								
略図			測定基準	工 種						
				基準高	上 限					
					下 限					
				厚さ	上 限					
		下 限								

出来形管理図(整地工用)

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者
-----	--------------	---------

No.

工事名	工種	面積	測定
測定記録 上段:心土測定 下段:表土測定  排水路側 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯		○計画面積: EL= _____ m ○心土標高: 砂質土、砂利混じり土、粘土 ○水戸尻標高: EL= _____ m 測定点の数: n= _____ 点	○計画面積 _____ m <sup>2</sup> 略図
心土	施工年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 測定年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 測定者: _____ BM: _____ m BS: _____ m IH: (BM+BS) _____ m $FS = IH - \sum FS/n$ = $IH - ( \quad ) / ( \quad )$ _____ m	面積計算書(ヘロン式) a _____ m b _____ m c _____ m 面積 _____ m <sup>2</sup> a _____ m b _____ m c _____ m 面積 _____ m <sup>2</sup> a _____ m b _____ m c _____ m 面積 _____ m <sup>2</sup>	面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup>
表土	施工年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 測定年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 測定者: _____ BM: _____ m BS: _____ m IH: (BM+BS) _____ m $FS = IH - \sum FS/n$ = $IH - ( \quad ) / ( \quad )$ _____ m	面積計算書(ヘロン式) a _____ m b _____ m c _____ m 面積 _____ m <sup>2</sup> a _____ m b _____ m c _____ m 面積 _____ m <sup>2</sup> a _____ m b _____ m c _____ m 面積 _____ m <sup>2</sup>	面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup> 面積 _____ m <sup>2</sup>
出来形管理図表 基準高(均平)の測定は、原則として10a当たり3点とする。 管理図には、段毎に線種を変えて表示すること。(上段: _____、中斷: _____、下段: _____、最下段: _____) 略図には設計図を利用しても良い。		集測面積の計= _____ m <sup>2</sup> 集測面積( _____ ) / 計画面積( _____ ) × 100 = _____ %	

出来形管理図 (暗渠排水用)

地区名		工事名		プロット番号		仮地番		現場代理人または主任技術者		施工管理責任者			
<p style="text-align: center;">測定者</p>													
<p style="text-align: center;">&lt;測定結果一覧表&gt;</p>													
列番	田面標高 (FS)	吸水渠布設深 (FS)				集水渠布設深 (FS)				排水底	排水高	規格	数量
		1	2	3	4	1	2	延長	勾配				
I	指定値												
	実測 FS												
	布設深												m
II	指定値												
	実測 FS												
	布設深												ヶ
III	指定値												
	実測 FS												
	布設深												ヶ
IV	指定値												
	実測 FS												
	布設深												ヶ
<p style="text-align: center;">&lt;配置見取図&gt;</p>													
<p style="text-align: center;">&lt;記入注&gt;</p>													
<p>1.見取図に写真撮影箇所を→印で明示すること。</p>													
<p>2.掘削時点の地下水深を測定記入すること。</p>													
<p>3.見取図に現況土性を記入すること。</p>													
<p>4.見取図に付属品施工箇所を記号で明示すること。</p>													
<p>排水側 ↓</p>													
<p>排水側 ↓</p>													
<p>① エルボ ② チャーズ ③ 枝管 ④ 異型ジョイント ⑤ キャップ ⑥ 水栓 ● 水閘</p>													
<p>もみ がら</p>													





品質管理図(生コンクリート)

工事名 供試体 番号	規格	空気量 スランブ 測定値	養生日数			養生 区分	供試体 番号	重量 kg	破壊荷重 t	圧縮(曲げ)強度試験										備考			
			試験日 月	日	数					0	5	10	15	20	25	30	35	N/mm <sup>2</sup>	摘要				
																					圧縮強度		
月 日 曜	設計強度	% cm	7日	水中	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		
月 日 曜	設計強度	% cm	28日	水中	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		
月 日 曜	設計強度	% cm	28日	現場	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		
月 日 曜	設計強度	% cm	7日	水中	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		
月 日 曜	設計強度	% cm	28日	現場	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		
月 日 曜	設計強度	% cm	7日	水中	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		
月 日 曜	設計強度	% cm	28日	現場	1																推定4週値( )		
	N/mm <sup>2</sup>				2																		
	スランブ				平均																		

監督員 現場代理人  
は主任技術者  
No.





様式 10-1

X-R管理データシート(1)

		監督員		現場代理人又は主任技術者		施工管理責任者	
名称						期間	
品質・特性						自 年月日	
						至 年月日	
測定単位		日標準量					
規格限界	上限値	試料		大きさ			
	下限値			間隔	測定者		
設計基準値		作業機械名		作成者			

月日	組の番号	測定値					計 $\Sigma x$	平均値 $\bar{x}$	範囲 R				
		x1	x2	x3	x4	x5							
	1												
	2												
	3									x		R	
	4									平均			
	5									累計			
	小計									小計			
	6												
	7												
	8												
	9									平均			
	10									累計			
	小計									小計			
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												
	16												
	17												
	18												
	19									平均			
	20									累計			
	小計									小計			
記事										n	d <sub>2</sub>	A <sub>4</sub>	D <sub>2</sub>
										2	1.13	1.88	3.27
										3	1.69	1.02	2.57
										4	2.06	0.73	2.28
										5	2.33	0.58	2.11

注) 1.規格限界、設計基準値は設計図書、仕様書に定められた値を記入する。  
2.管理限界線の引き直しは、5-5-10-20-20方式による。

(備考) ————— 管理限界計算のための予備データの区間とする。  
----- 上記の管理限界を適用する区間を示す。

3.21組~40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとと同様とする。











二次製品品質管理図(管製品)

製品名		規格		納入者名		検査		その他 (外觀等)		備考 (製造月日等)	
工 事 名		納入者名		納入者名		検査		その他 (外觀等)		備考 (製造月日等)	
番 号	納入月日	検収月日	測定	外圧検査	重量 kg	配筋検査	寸 法		検査	その他 (外觀等)	備考 (製造月日等)
							設計	値			
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								
			設計値との差								
			実測値								











## 塩化物含有量試験

工事名	工種	監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者
コンクリートの規格	N/mm <sup>2</sup> 、スランプ	測定者		
設計基準強度	cm、粗骨材最大寸法	単位水量		
骨材の産地	セメントの種類	測定器名		kg/m <sup>3</sup>

測定年月日	年 月 日			平均
測定番号	1	2	3	
測定器の読み				
塩素イオン濃度				%
平均塩化物量	(平均値) × (単位水量)			= (合否)
試験紙添付				

測定年月日	年 月 日			平均
測定番号	1	2	3	
測定器の読み				
塩素イオン濃度				%
平均塩化物量	(平均値) × (単位水量)			= (合否)
試験紙添付				





# プルーフローリング試験

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

工事名 : \_\_\_\_\_ 受注者 : \_\_\_\_\_

工種名 : \_\_\_\_\_ 測定者 : \_\_\_\_\_

項目	事項				備考
天候	測定面の含水状況				
試験区間	No. _____ ~ No. _____				
載荷車	型式		接地圧		
載荷状況	予定載荷回数	回	本載荷速度	km/h	

試験結果	
視察展開図	<p>_____</p> <p>No.      No.      No.      No.      No.      No.      No.</p> <p>.....</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>No.      No.      No.      No.      No.      No.      No.</p> <p>.....</p> <p>_____</p>
視察記事	
異常個所の処置	

### コンクリート養生温度管理表

工事名 \_\_\_\_\_

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者
-----	--------------	---------

工種	施工箇所		規格										
	年月日	打設量											
1.打設年月日		m <sup>3</sup>											
養生月日	天候	気温 最高	養生温度 (測定時刻)	管	理	図	°C						
								最低	°C				
2月日		°C		12	10	8	6	4	2	0	-2	-4	-6
3月日													
4月日													
5月日													
6月日													
7月日													

工種	施工箇所		規格										
	年月日	打設量											
1.打設年月日		m <sup>3</sup>											
養生月日	天候	気温 最高	養生温度 (測定時刻)	管	理	図	°C						
								最低	°C				
2月日		°C		12	10	8	6	4	2	0	-2	-4	-6
3月日													
4月日													
5月日													
6月日													
7月日													

工種	施工箇所		規格										
	年月日	打設量											
1.打設年月日		m <sup>3</sup>											
養生月日	天候	気温 最高	養生温度 (測定時刻)	管	理	図	°C						
								最低	°C				
2月日		°C		12	10	8	6	4	2	0	-2	-4	-6
3月日													
4月日													
5月日													
6月日													
7月日													

工種	施工箇所		規格										
	年月日	打設量											
1.打設年月日		m <sup>3</sup>											
養生月日	天候	気温 最高	養生温度 (測定時刻)	管	理	図	°C						
								最低	°C				
2月日		°C		12	10	8	6	4	2	0	-2	-4	-6
3月日													
4月日													
5月日													
6月日													
7月日													

養生温度(及び気温)は、毎日時刻を定めて1回以上測定すること。  
 「施工箇所」には、測点又は施工部分名を記入する。「規格」には、コンクリートの設計基準強度等を記入する。

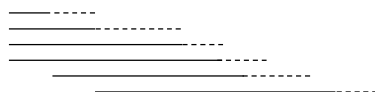
### X-Rs-Rm管理データシート

監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者

名称		工事名		期間	自	年 月 日
品質・特性		事業所名			至	年 月 日
測定単位		日標準量				
規格限界	上限値	試料	大きさ	測定者		
	下限値		間隔			
設計基準値		作業機械名		作成者		

月 日	試験番号	測定値				計	平均値	移動範囲	測定値内の範囲	X±E <sub>2</sub> ・Rs=			
		a	b	c	d					Σ	$\bar{X}$	Rs	Rm
	1								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ s=				
	2								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ m=				
	3												
	4								平均	X =	Rs =	Rm =	
	5								累計				
	小計								小計				
	6								X±E <sub>2</sub> ・Rs=				
	7								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ s= D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ m=				
	8								平均	X =	Rs =	Rm =	
									累計				
	小計								小計				
	9								X±E <sub>2</sub> ・Rs=				
	10								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ s=				
	11								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ m=				
	12								平均	X =	Rs =	Rm =	
	13								累計				
	小計								小計				
	14								X±E <sub>2</sub> ・Rs=				
	15								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ s=				
	16								D <sub>4</sub> ・ $\bar{R}$ m=				
	17												
	18								平均	X =	Rs =	Rm =	
	19								累計				
	小計								小計				
記事									n	d <sub>2</sub>	D <sub>4</sub>	E <sub>2</sub>	
									2	1.13	3.27	2.66	
									3	1.69	2.57	1.77	
									4	2.06	2.28	1.46	
									5	2.33	2.11	1.29	

- 注) 1.規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。  
 2.管理限界線の引き直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。



(備考) ————— 管理限界計算のための予備データの区間とする。  
 - - - - - 上記の管理限界を運用する区間を示す。

3.以下、最近20個(平均値 $\bar{X}$ を1個とする)のデータを用い、次の10個に対する管理限界とする。



X-Rs-Rm管理図

	監督員	現場代理人又は主任技術者	施工管理責任者	
設計基準値	期 間			自 年 月 日 至 年 月 日
名称	工 事 名			
品質特性	日 標 準 量	上 限 値	下 限 値	
測定単位	規 格 値 限 界	大 き さ	間 隔	
測定方法	試 料			
作業機械名	測 定 者			
X				
Rs				
Rm				
組 の 番 号				
記 事				

注) 1.管理図には、別紙「X-Rs-Rm管理データシート」から記入する。  
2.記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

